

確認申請提出時チェックリスト(福井市)

該当する項目およびチェックした項目の“ ”欄に“ ”を付けてください。(裏面とも)

1 正本および副本の整合性の確認

図 書	確認した項目
正本 1 通 副本 1 通 消防用 1 通	必要な添付図書の確認 確認申請書 委任状(代理人による申請の場合) 意匠・設備等の図面 施行規則に規定されている図書 法第 43 条許可等の図書、関係法令(消防法 17 条等)に関する規定が適用される建築物の図書等を含む。 構造図面、構造計算書等 施行規則に規定されている構造図、構造計算書 認定書の写し 建築計画概要書 建築工事届 建築計画協議書 図書相互の整合性の確認

2 設計者の記載の確認

図 書	確認した項目
申請書(第 1 面、第 2 面) 設計図書	申請書の第 1 面と第 2 面との照合 正本及び副本の全ての設計図書ならびに構造計算書(表紙のみ)に設計者の資格の記載、記名の確認

3 設計者等の資格等の確認

図 書	適 用	確認した項目
申請書(第 2 面) 構造計算書	・代理人	委任状(代理人による申請の場合)との整合
	・代理人(事務所名)	事務所登録(資格記載有)との整合
	・設計者	建築士免許証との整合
	・建築設備	建築士免許証との整合 (設計者が建築士である場合)
	・工事監理者	建築士免許証との整合 未定の場合(未定:決定次第報告と記載) 委任状との整合
	・構造設計	建築士免許証との整合
備考	確認時に監理者未定の場合は、決定の報告を受けた際に、委任状との整合を確認	

4 構造計算の安全証明書の写しの添付の確認

図 書	確認した項目
構造計算によって建築物の安全性を確かめた旨の証明書	建築士により構造計算によって建築物の安全性を確かめられたものである場合に添付

5 設計者の業務範囲の確認

適 用	確認した項目
設計者	建築士法第 3 条、第 3 条の 2、第 3 条の 3 より、一級建築士でなければできない設計の業務範囲等の確認

6 構造計算適合性判定の要否の確認

建築物の部分の数 (構造上の棟数)		構造上の棟数 () 棟			
棟番号	構造計算に係る部分の床面積	適用した構造計算の種類		構造計算の方法	構造計算適合性判定の要否
		保有水平耐力計算 許容応力度計算	許容応力度等計算 その他()	大臣認定プログラム その他	要 否
		保有水平耐力計算 許容応力度計算	許容応力度等計算 その他()	大臣認定プログラム その他	要 否
		保有水平耐力計算 許容応力度計算	許容応力度等計算 その他()	大臣認定プログラム その他	要 否
		保有水平耐力計算 許容応力度計算	許容応力度等計算 その他()	大臣認定プログラム その他	要 否
		保有水平耐力計算 許容応力度計算	許容応力度等計算 その他()	大臣認定プログラム その他	要 否
備考	建築基準法施行令第 81 条第 2 項によるエキスパンションジョイント等により各々別の建物とみなす建築物および別棟の建物 1 棟ごとに記載 既存建物に一体となる増築は、(既存 + 増築) の面積				